

○下水道使用料改定市民説明会 主な質疑応答

No.	質問	回答
改定理由に係る質問		
1	収益的収支（維持管理の予算）でなぜ赤字が発生しているのですか？ 使用料収入が下がったので値上げしますという理由では、説明が不足しているのではないのでしょうか？	主要な財源である下水道使用料の単価を20年以上据え置いてきたことで収入が減少している一方で、近年の急激な物価高騰や労務単価の上昇による費用上昇が続いていることで、採算が取れなくなっています。 本来的には、将来の施設更新等に備えて定期的に下水道使用料の改定を検討する必要がありました。 今後も安定的な下水処理を継続していくために、ご理解ご協力をお願いいたします。
2	下水道使用料の単価を20年以上変えていない中で、人口が減少して水を使う人が減っているため、収入が減っているということですか？	お見込みのとおりです。
3	下水道に接続している世帯が減少しているために水の使用料が減少しているということですか。	人口減少と、節水機器の普及による影響も大きいと分析しています。
4	なぜ20年以上も値上げしてこなかったのですか？	本市下水道事業では4年毎に将来の収支を見通す「財政計画」を作成し、計画期間中に財源が不足しない限り、安価な下水道使用料単価を継続する経営を行ってきました。
5	今回の改定で黒字となっても、利益が徐々に減少していくけばまた改定を行うのですか？	今後は老朽化により更新が必要な施設が増加していくため、多くの財源が必要となります。 適切な維持管理を継続しつつ、将来の施設更新に向けた財源を確保するために、定期的に使用料改定を検討する必要があると考えています。

6	使用料改定によって増加した収入は、施設の耐震化や更新に充てるのですか？	下水道使用料は主に施設の維持管理費用等の財源になります。使用料収入と維持管理費用等の差し引きから生まれる利益が企業内に留保されて、将来の耐震化や改築更新費用の財源として活用されます。
下水道事業の制度や会計に係る質問		
1	水道メーターの口径によって下水道使用料の単価は変わるのでですか？	同じ水量を使用しても、水道料金は水道メーターの口径で単価が変動しますが、下水道使用料はメーター口径による単価の差はありません。
2	収入の不足に対して、市役所一般会計の予算を組み換えて対応できないのですか？	本市下水道事業は、地方公営企業法に基づき、公営企業会計によって経営を行っています。 公営企業会計では「独立採算」の原則に従い、下水道使用料のような経営に伴う収入によって事業を運営することが求められています。
3	農業集落排水、住宅団地排水は下水道事業とは別の会計で経営しているのですか？	お見込みのとおりです。 農業集落排水は水道局の所管で公営企業会計により経営し、住宅団地排水は市役所一般会計にて経営しています。
4	「独立採算」の原則は、前橋市の判断で達成できるという見込みで採用しているのですか？	下水道事業は、國の方針により地方公営企業法を適用して、公営企業会計による経営を行うこととなっています。 公営企業会計による経営では、「独立採算」の原則に則った事業運営が求められています。
下水道施設に係る質問		
1	人口減少が進む中で、設備が過剰になっているのではないか。	施設更新を行うときは、将来の排水予測や、現状を踏まえて更新を検討します。

2	使用料改定によって発生する利益を、施設の更新費用の財源として留保するということですが、施設更新を何年ごとに行うなどの基準はあるのですか？	施設を更新するための目安として、施設の「耐用年数」という考え方があり、例えば管渠などは長くて50年ほどで耐用年数を迎えます。しかしながら、耐用年数を経過して即座に更新するのではなく、劣化度合いなど健全性の調査を行い、健全であれば修繕工事をすることで耐用年数を以上施設を使うこともあります。
3	適切な維持管理を継続できないと予測される問題点として、汚水の逆流等が例示されています。 それは前橋市の処理方法が間違えているということですか？	定期的な管渠の清掃などができる場合の、最悪のケースとして汚水の逆流などを例示いたしました。 清掃や修繕が行き届けば、管渠の閉塞やそれに起因する逆流などは発生いたしません。 現在はそのような事故が起こらないように調査・維持管理を行っており、今後も適切な維持管理をしていくために、下水道使用料改定により費用を賄っていきたいと考えています。